



毎日新聞社 1951年

源氏

GENJI KEITA

富山が生んだ

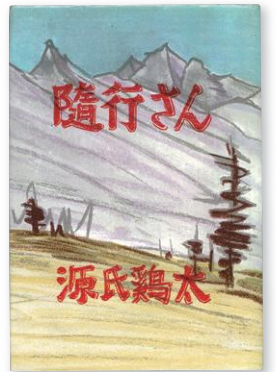
直木賞作家

2026年1月17日(土)～3月9日(日)
開館時間／9時半～18時(観覧受付は17時半まで)※1月17日(土)は10時開場



写真提供: 文藝春秋

鶏太展



東方社 1959年

休館日／毎週火曜日、2月12日(木) 観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円 ※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、北日本放送

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22 TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490 <https://www.koshibun.jp/>

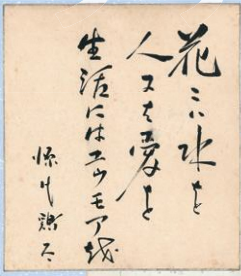
高志の国
文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature

富山が生んだ直木賞作家・源氏鶏太展

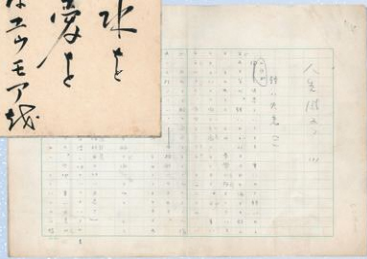
花には水を、人には愛を、生活にはユウモアを (源氏鶏太)

「三等重役」などのベストセラーで「サラリーマン小説」という新しい分野を開拓し、富山県初の直木賞作家となった源氏鶏太(1912~1985)。近年では、山内マリコによる『青空娘』の解説が人気を呼び、その後文庫の復刊が相次いだことで改めて評価されています。

源氏は富山商業高校卒業後、住友本社に入社し、約26年にわたって勤務を続けながら、サラリーマン生活の悲喜こもごもをあたたく見つけたユウモアあふれる作品を次々に発表。勧善懲悪という自身の理想を反映させつつ、時代に即したその作品は読者の共感を呼び、小説を原作とした映画やテレビドラマも数多く作られました。生き生きとした会話で読ませる文体とストーリーの面白さは、今読んでも色あせない魅力があります。晩年は、サラリーマンの怨念や人間の心の闇を描いた「妖怪小



色紙
「花には水を 人には愛を
生活にはユウモアを」



原稿「人生感あり」昭和39~40年(1964~65)連載

三等重役

人間の善意を描き出す源氏鶏太の文学世界をぜひお楽しみください。

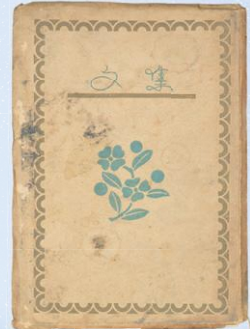
文学世界をぜひお楽しみください。

映画「三等重役」パンフレット
東宝株式会社発行
昭和27年(1952)



集英社文庫『英語屋さん』
平成30年(2018)

自筆詩集『田中富雄詩集』
昭和5年(1930)



森繁久彌出演映画

関連イベント

① 書道パフォーマンス(ライブイベント)

出演 県立富山商業高校書道部のみなさん
日時 1月7日(水) 13:00~14:00
会場 当館エントランスゾーン
備考 源氏鶏太の作品を題材にしたパフォーマンス
◎申込不要 ◎参加無料

② 記念対談

「昭和の良心、源氏鶏太が最高のワケ」
出演 山内マリコ
(作家 源氏鶏太
「ちくま文庫青空娘」解説
室井滋(当館館長)

日時 1月17日(土) 10:30~12:00
※終了後山内さんのサイン会があります
会場 当館ライブラリーコーナー
◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員100名

③ DVD上映会

作品「四つ子の恋の物語」
(製作 日活 1965年 89分)
原作 源氏鶏太
監督 西河克己
「家庭の事情」より
出演 吉永小百合、和泉雅子、
十朱幸代、芦川いづみ



©日活

④ リーディング・シアター(朗読劇)

作品 源氏鶏太「鰻と草履と羽織」ほか、
関あつし「足つらの恋」
出演 関あつし 氏 俳優
麻尋えり 氏 俳優
友井賢太郎 氏 ピアノ
室井滋(当館館長)

⑤ 担当学芸員によるギヤラリートーク(展示解説)

日時 1月31日(土)、2月21日(土)、3月8日(日)
各回 14:00~30分程度
会場 当館企画展示室
◎申込不要 ◎要観覧券
「申込方法」電話・WEB申込フォームにてイベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。※定員に達し次第募集を終了します。

申込フォーム



<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=dreUbPxo>

高志の国 文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>

かいけつゾロリ 大冒険展

2026年3月28日(土)~6月8日(月)



利用のご案内

〈開館時間〉9:30~18:00(観覧受付は17:30まで)
※1月17日(土)は10:00開場

〈休館日〉毎週水曜日、2月12日(木)

〈観覧料〉一般400円(320円)、大学生200円(160円)、
前売り・一般320円

[お求めは高志の国文学館、アーツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます]

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

交通のご案内

- JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から/◎市内電車「富山駅」のりばから大学前または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどはや(西ルート)「富山中部高校前」下車、徒歩2分
- 富山空港から/◎タクシー 約20分
- 北陸自動車道富山ICから/◎自動車 約20分



心にたどり、栄養補給!



館長 室井 滋